

製品安全データシート

改訂年月日 2010 年 12 月 21 日

1. 製品名及び会社情報

製品名 **玄関ドア用つやだしワックス**
会社名 株式会社リンレイ
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 4 丁目 10 番 13 号
担当部門 秦野工場 生産技術課
電話番号 0463-81-5455
FAX 番号 0463-82-4700
推奨用途 家庭用ドア用保護ツヤ出し

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
物理化学的危険性: 可燃性・引火性エアゾール: 区分 1
健康に対する有害性: 急性毒性/経口: 区分 5
皮膚腐食性/刺激性: 区分 3
環境に対する有害性: 水生環境有害性(急性): 区分 3
水生環境有害性(慢性): 区分 3

上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

GHS のラベル要素
シンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
飲み込むと有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物(エアゾール)

成分名/化学名	含有量 wt%	CAS.No.	化審法 No.	安全衛生法 No. 通知対象物	PRTR 法 No. 第 1 種、第 2 種
LPG ガス	27.3	115-10-6	2-360	公表	非該当
精製鉱物油	15-20	8042-47-5	2-10	通知物質: 鉱油	非該当
植物精油	1 以下	非公開	-	非該当	非該当
紫外線吸収剤	1 以下	非公開	-	非該当	非該当
石油系溶剤	50-60	非公開	-	非該当	非該当

4. 応急措置

目に入った場合

- ・こすらず直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・大量の水を用いて十分に洗い流す。
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合

- ・直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にすし、医師の診察を受ける。
- ・呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。

蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合

- ・空気の清浄な場所で安静にする。回復しない場合は速やかに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

- ・被災者に意識がある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
- ・被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

使用可能な消化剤

- ・炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、噴霧水等

消火方法

- ・可燃性の物を周囲から取り除く。
- ・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・可能であれば付近の着火源・高温体および付近の可燃物を取り除く。
- ・ガスの噴出が止まり、十分な換気後に作業する。
- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

回収方法

- ・火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する
- ・多量に漏出した場合：土のう等で拡散を防止し、密閉できる容器に回収する。
- ・少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

<技術的対策ならびに注意事項>

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・容器はその都度密閉する。
- ・周辺で火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。

<安全取り扱い注意事項>

- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管

<保管条件>

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・酸化性物質との同一場所保管は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

保護具

目の保護 :ゴーグル等を使用する。

皮膚および身体の保護 :皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。

呼吸系の保護 :有機ガス用防毒マスクを着用する。必要に応じて、送風マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質（原液についての参考値）

物理的状态	乳白色液体
臭気	特有の香気
水への溶解性	溶解しない
沸点	データなし
蒸気圧	データなし
pH	対象外
粘度	対象外
不揮発分	23.0(105℃、24 時間、参考値)
比重	0.78(@25℃、参考値)
引火点	40.0℃(内容液)
発火点	データなし
その他	特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	一般環境下で安定
危険な反応	情報なし
避けるべき条件	40℃を超える環境
避けるべき材料	強酸化剤との混合禁止
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	石油系溶剤のLD50(ラット経口)が2000mg以上、精製鉱油のLD50(ラット経口)が5000以上であるので、区分5とした。
	経皮	石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分外なので、区分外とした。
	吸入	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性・刺激性		石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分3なので、区分3とした。
眼に対する重篤な損傷制・刺激性		データ不足のため分類できない
呼吸器感受性/皮膚感受性		データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない
発がん性		石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分外なので、区分外とした。
生殖毒性		データ不足のため分類できない
特定標的臓器・単回暴露		データ不足のため分類できない
特定標的臓器・反復暴露		石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分2(腎臓)なので、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性		データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

水生環境

急性有害性 石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分1で配合量が1%以下なので、区分3とした。

慢性有害性 石油系溶剤が分類できない、精製鉱油が分類できない、植物精油が区分 1 で配合量が 1%以下
なので、区分 3 とした。

その他 一般環境内には廃棄しない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ガスを放出する場合は、火気のない、通風良好な状態で行う。
- ・廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および
- ・関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。
- ・地域の規則に従う。

汚染容器・包装

- ・ガスの入った容器はそのまま廃棄しない。
- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・地域の規則に従う。

14. 輸送上の注意

- ・国連分類 高压ガス、可燃性ガス毒性なし、クラス 2.1
- ・国連番号 1950
- ・陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。
- ・内陸水路輸送: 船舶安全法の定めに従う。
- ・海上輸送: 船舶安全法の定めに従う。
- ・航空輸送: 航空法の定めに従う。

15. 適用法令

消防法	内容液は、第四類第 2 石油類に該当
PRTR 法	該当しない
労働安全衛生法	噴射剤(LPG)は、施行令別表 1 危険物(可燃ガス)に該当、精製鉱物油は、通知物質(鉱油)に該当
毒物及び劇物取締法	該当しない
高压ガス保安法	噴射剤は、液化ガス(第 2 条)一般高压ガス保安規則第 2 条(可燃性ガス)に該当
船舶安全法	噴射剤は、危険則第 3 条危険物等級 2.1 高压ガスに該当
航空法	噴射剤は、施行規則第 194 条危険物高压ガスに該当

16. その他の情報

特になし

(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。